

Humanoise project

音楽を届けたい

10thヒューマノイズプロジェクト

八面神社農村舞台

Yatsura

Humanoise…

それは人が自然の一部だった頃の生活音…
川のせせらぎ、鳥のさえずり、雨音…
昔、人の暮らしは大自然と共に…

そして歌が生まれた

**無観客動画配信
ライブにて開催**



丹生谷清流座

那賀町ケーブルテレビ、
丹生谷清流座YouTubeにて
無料動画配信

2021年12月～配信予定

配信開始日時は
丹生谷清流座facebook
でお知らせします!



おおたか 静流



山口 とも



吉野 弘志



住友 紀人

お問い合わせ seiryuza@gmail.com
*電話対応はしていません。メールをお願いします

■主催＝丹生谷清流座 ■協力＝那賀町農村舞台再生協議会／八面神社／紅葉川同志会
■助成＝徳島県 あわ文化創造支援／(公財)徳島県文化振興財団



おおたか 静流

シンガー&ヴォイスアーティスト
七色の声を駆使し、わらべうたから即興まで、唯一無二の歌世界を行く。「声のお絵描き」主宰。声の可能性とバリエーションを追求している。NHK「にほんごであそぼ」「未解決事件」等にて歌唱。
<http://sizzle-ohataka.com>



山口とも

日本廃品打楽器協会会長。打楽器奏者。写真家。祖父、山口保治は「かわいい魚屋さん」「ないしょないしょ」など数々の童謡を創った作曲家。父、山口浩一〔新日本フィルハーモニー／ティンパニー奏者〕の長男として東京に生まれる。1980年「つのだ☆ひろとJAP,SGAP,S」でデビュー。解散後、フリーの打楽器奏者として中山美穂・今井美樹・平井堅・石井竜也・サーカス、また2012年には狂言師の大倉基誠、2013年には石川さゆりなど数々のアーティストのツアーやレコーディングに参加。95年の音楽劇「銀河鉄道の夜」をきっかけに廃品から様々なオリジナル楽器を作るようになる。おおたか静流とのスピリチュアルなライブパフォーマンスやロックの中山ラビ、等活動の場を広め、04年には日本演芸協会の福岡詩二氏から「打楽器コメディアン」の称号をもらい、浅草木馬亭に出演、好評を博している。03年4月～06年3月までNHK教育テレビ「ドレミノテレビ」に「ともとも」の愛称でレギュラー出演していた。「音楽=音を楽しむこと」をモットーに近年は子供から大人まで楽しめる音楽を目指し、オリジナル廃品楽器を使ったパフォーマンス活動をして注目を浴びている。ガラクタに命を吹き込む打楽器奏者。

師の大倉基誠、2013年には石川さゆりなど数々のアーティストのツアーやレコーディングに参加。95年の音楽劇「銀河鉄道の夜」をきっかけに廃品から様々なオリジナル楽器を作るようになる。おおたか静流とのスピリチュアルなライブパフォーマンスやロックの中山ラビ、等活動の場を広め、04年には日本演芸協会の福岡詩二氏から「打楽器コメディアン」の称号をもらい、浅草木馬亭に出演、好評を博している。03年4月～06年3月までNHK教育テレビ「ドレミノテレビ」に「ともとも」の愛称でレギュラー出演していた。「音楽=音を楽しむこと」をモットーに近年は子供から大人まで楽しめる音楽を目指し、オリジナル廃品楽器を使ったパフォーマンス活動をして注目を浴びている。ガラクタに命を吹き込む打楽器奏者。



丹生谷 清流座

2009年、那賀町の青年団員を中心に結成された人形浄瑠璃座。人形遣い勸緑氏の指導のもと、県内各地の農村舞台、阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバルなど多くの公演に参加し、人気を博す。2013年「とくしま集落再生表彰・優秀賞」「阿波文化創造賞」受賞。2017年「過疎地域自立活性化優良事例・総務大臣賞」受賞。

集落再生表彰・優秀賞「阿波文化創造賞」受賞。2017年「過疎地域自立活性化優良事例・総務大臣賞」受賞。

100年の歴史を持つライブ会場 八面神社農村舞台



復活前の八面神社農村舞台

農村舞台は神社の境内に建築された小さな劇場です。小屋が舞台で、広場が客席という、まさに野外ライブのスタイルになっています。その歴史は古く、明治以降、徳島県内各地に造られ、人々は人形浄瑠璃などの芸能や娯楽に触れました。映画もテレビもない時代、農村舞台で過ごすひときは、夢のように楽しかったことでしょう。時代とともに衰退していききましたが、まだ多くが残されています。農村舞台は全国に誇るべき文化遺産です。現在、地域の人々によって守られ、復活した10棟ほどの農村舞台(那賀町内は6棟)では、人形浄瑠璃などの公演が定期的に行われています。築100年を迎えた八面神社農村舞台も、2010年の復活後、人形浄瑠璃公演とヒューマノイズプロジェクトを開催。さらに那賀町では、2つの人形座「丹生谷清流座」と「那賀高校人形浄瑠璃部ゆず座」が活躍しています。



吉野 弘志

Acoustic Bass

1955年広島市生まれ。高校時代よりジャズベーシストを志し、1975年に東京藝術大学音楽学部器楽科(コントラバス専攻)に入学、江口朝彦氏に師事。1980年、坂田明(sax)トリオに参加、以後、富樫雅彦・加古隆・山下洋輔・板橋文夫・垣谷哲など数多くのグループに参加する。

また現代音楽の分野での活動も活発で、故・武満徹プロデュースの「MUSIC TODAY」や「八ヶ岳高原音楽祭」に参

加、2006年の東京オペラシティでの「SOUL TAKEMITSU」にも出演した。また2009年には間宮芳生書き下ろしの新作オペラ「ボボイ」、2011年には「間宮芳生の仕事」コンサートにも出演する。

現在は、ベース・ソロと「彼岸の此岸」(太田恵資violin, 鬼怒無月guitar, 吉見征樹tabla)を活動の中心にしながら、大ベテランの中牟礼貞則guitarや渋谷毅pianoとのデュオも行なっている。

また下北沢レディー・ジェーンでの作家の山田詠美・奥泉光との「朗読と音楽」のセッション(太田恵資violin, 小山彰太drums)は、毎回熱心なファンのご希望するところとなっている。

リーダー作品に「泣いたら湖/吉野弘志・モンゴロイダーズ」(2002年/ohrai)と、ベース・ソロアルバム「on Bass」(2004年/rinsen music)、「吉野弘志 彼岸の此岸/Feeling the Other Side」(2013年/AKETAS DISK)がある。



住友 紀人

作曲家・サクソ・EWI奏者

生年月日:1964年2月27日/出身地:徳島県

出身校:パークリー音楽大学

略歴:87年フジサンケイグループ主催「夢工場」のエンタランスホール担当音楽プロデューサーとしてデビュー。その後マイケルブレッカーと共にAKAIプロフェッショナルのサウンドアドバイザーとして開発に携わりEWI(ウインドシンセサイザー)の第一人者として名を広める。数々の著名なミュージシャン達とのセッションを経て参加したイタ

リアンプログレッシブロック界の巨匠、ジャンニ・ノセンチのソロアルバム「SOFT SONGS」は米ビルボード誌に掲載され同アルバムで競演した坂本龍一氏と共に高い評価を受ける。

作曲家としては映画「ホワイトアウト」で脚光を浴び、同映画で日本アカデミー優秀音楽賞を受賞。テレビドラマにおいても「やまとなでしこ」、テレビ朝日開局45周年記念ドラマ「弟」、「熟年離婚」、「アンフェア」、NHK朝の連続テレビ小説「つばさ」、「沈まぬ太陽」などの音楽を相次いで担当し、同作品では2度目の日本アカデミー優秀音楽賞と最優秀作品賞を受賞。

2009年アレンジ、サウンドプロデュースで参加した、いきものがかり「ハジマリノウタ」は日本レコード大賞最優秀アルバム賞を受賞。その後、歴史的な大ヒットを記録した「テルマエ・ロマエ」シリーズや「ドラゴンボール」シリーズ、フジテレビ9ドラマ「デート」等は記憶に新しい。

2014年よりNATHAN EAST HIS ALL STAR BANDにサクソ、キーボード奏者として招かれ、作曲活動の傍ら世界各国を歴訪している。